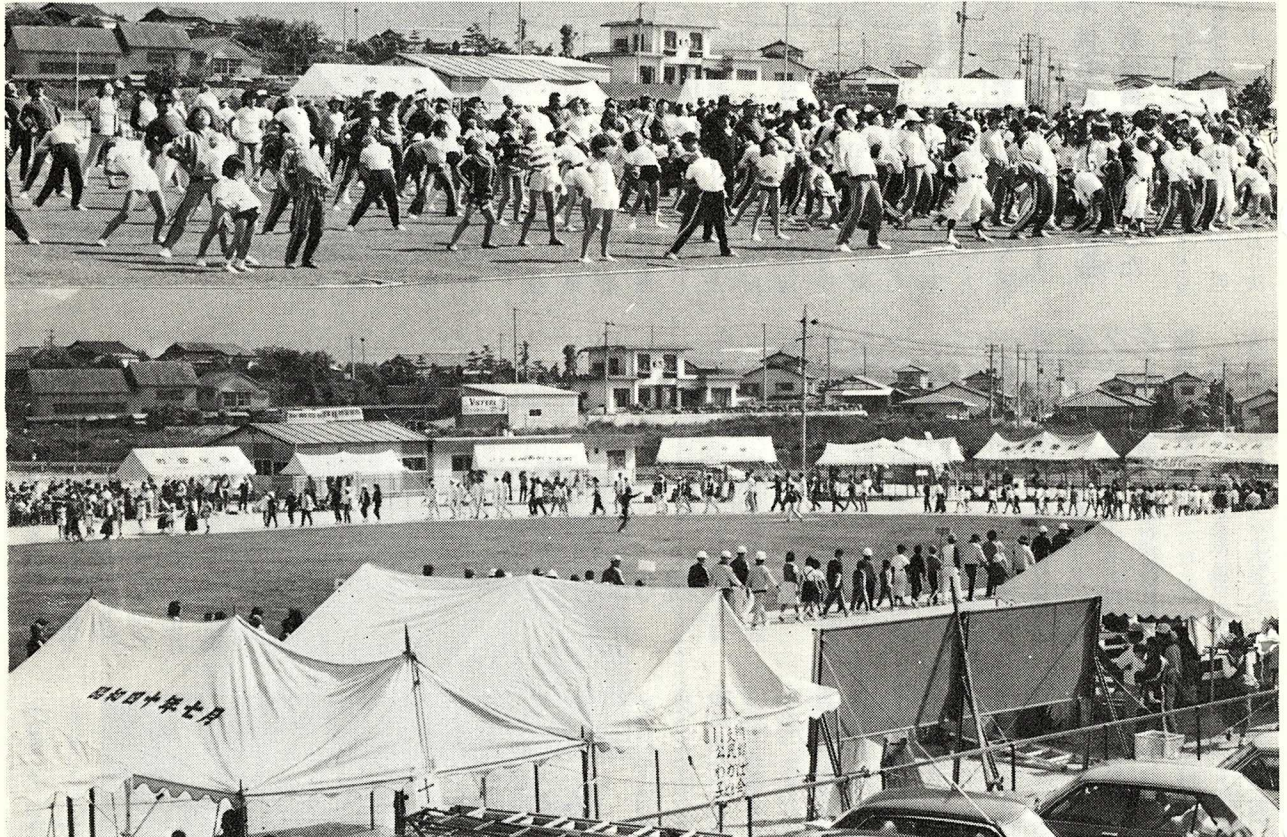


# 広報 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004  
 印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

町の人口	
人口	9,386人 (増25)
男	4,499人 (増8)
女	4,887人 (増17)
世帯数	3,031世帯 (増16)
出生	3人
転入	79人
死亡	8人
転出	49人
(55年4月末日現在)	

( ) 内は前月との増減



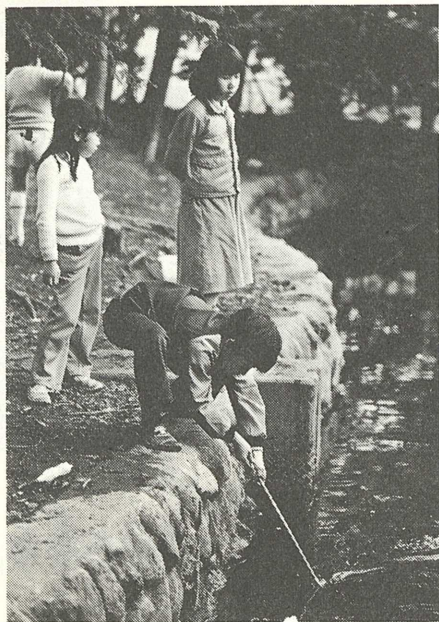
(堂々の入場行進する各地区選手団・写真(上)は準備体操)

## 盛況!! 町民体育祭典に酔う

### 健康づくりと触れ合いを求めて



赤池町民体育大会実行委員会主催の第19回町民体育祭が五月晴れに恵まれた5月18日、町民グラウンド(競技場)で盛大に行われました。「年に一度、町民がひとつの会場に集う」この祭典は、町内各地区より「健康づくりと触れ合いを求めて、約3,500人が競技場をうずめ、午前9時30分、小学生60m競争を封切りに、地区子ども対抗リレー、青年対抗リレー、壮婦混合対抗リレー、公民館対抗リレー、職場対抗リレー、借物競争、玉入れなど子供から老人までの参加により行われ、各プログラムごとに頑張れの応援と大歓声ごとび、文字どおり町民一体となつての体育祭でした。町民の皆さんの積極的な参加と各種競技への応援ありがとうございました。来年も頑張りました!!



【水辺での遊びは危険がいっぱい】

子供  
水の犠牲者

# 交通事故のほぼ二倍

## 六月〜八月……とくにご注意ください

毎年、六月を迎えると、子供の水の事故が増えはじめ、夏休みを含む六〜八月の三カ月間は、一年のうちでも水による犠牲者が最も多い時期です。

昨年の例を見てみましょう。

六〜八月中旬に、海や川、池、あるいは用水池などで亡くなったたり行方不明になった子供(中学生以下)は、全国で五百十人を数えています。

同じ時期に交通事故で亡くなった子供二百七十六人に比べますと、

ほぼ二倍の犠牲者が出ているので、

年齢別に見てみますと、五百十人の犠牲者の半数、二百五十五人が就学前の幼児です。このうち八割近い二百三人が用水池や海、川池などに「転落して」亡くなっています。

小学生の場合は、百九十七人のうち、水泳中や魚をとって遊んでいる間に「深みにはまって」しまったケースが最も多く、八十一人、次いで、通行中や水遊び中の「転

六月は梅雨シーズン。長雨や集中豪雨などによって地盤がゆるみ、がけ崩れや地すべりが発生しやすくなります。

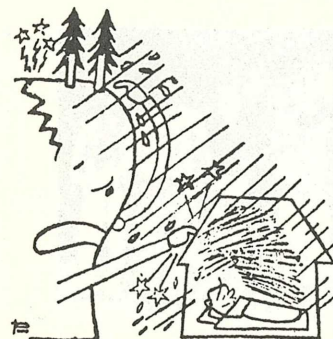


## ふだんから 防災体制づくりを

≡がけ崩れ防災週間≡

6月1日〜7日

特に、最近では宅地の需要増などから、危険ながけの近くや山地を開発した造成地に家を建てることが多くなったために、ひとたび



いざ、というときに備えて、災害防止のための工事をしたり、避難方法や避難場所などを家族で話し合い、防災体制づくりをしておくことが大切です。

# カナリヤ子供会が優勝

24支所

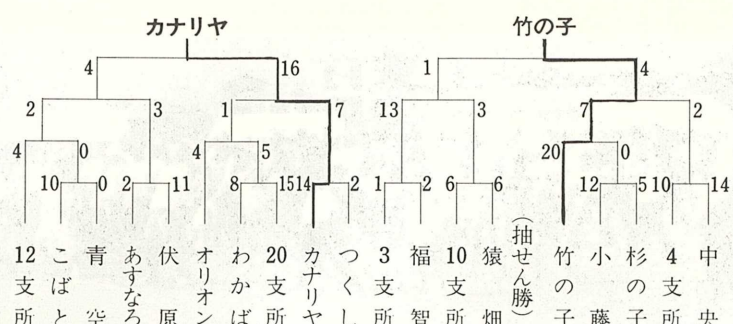
## 親子ソフトボール大会

五月晴れの憲法記念日、子ども会育成連絡協議会主催の第三回親子ソフトボール大会が町民グラウンドで行われました。

各地区より十九チーム、二百四十七人の参加により行われたこの大会は、激戦激闘の末、カナリヤ子ども会(二十四支所大丸平助会長)が、決勝で竹の子子ども会(八支所)を破り初優勝しました。なお、昨年優勝チームの十二支所子ども会は二回戦で敗退。結果は次のとおりです。



【各地区チームのみなさん・開会式より】



## 子供会育成連絡協議会の新役員が決まりました

昭和五十五年度、赤池子ども会育成連絡協議会の新役員が、四月二十一日の総会で次のとおり決

カナリヤ3〜2竹の子  
三位決定戦  
伏原13〜5福智

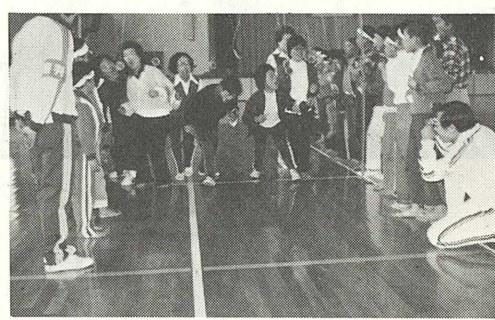
## ぶっつけ本番！ 親子競技で爆笑の渦

### ▶ 剣道少年部親子競技会 ◀

四月十三日(日)、小雨降るあいにくの天候の中、市場小学校体育館において、少年部八十名、父兄六十五名、総勢百四十五名の参加により、恒例の親子対抗競技会が開催されました。

剣道はぶっつけ本番で親子共々戸惑いや、しくじりで大笑い。ア

メ食いで顔中真白にお化粧のお母さんやお父さん。パン食いで思うように食べられないで、じれったいお母さん。親子剣道手合わせで、生まれて初めて防具を身につけたお母さんは、小さな子供に面をうたれて、思わず悲鳴をあげて逃げのお母さん。筋書きのないドラマを見るようで、終日、爆笑の渦がたえませんでした。



【なかなか口に入りません。パン食い競争より】

## ☆ 今月のこよみと行事

- 和名 水無月(みなづき)
- 農事を皆なしくした月ということから、六月を水無月という。
- 1日(日) 心配ごと相談日(セシター)
- 電波の日 気象記念日
- 写真の日 更衣
- 水道週間
- 4日(水) 虫歯予防デー
- 口腔衛生週間(はじまる)
- 5日(木) 世界環境デー 芒種
- 7日(土) 計量記念日
- 心配ごと相談日(セシター)
- 8日(日) 虫供養
- 10日(火) 時の記念日
- 11日(水) 入梅
- 15日(日) 父の日
- 17日(火) 心配ごと相談日(セシター)
- 21日(土) 夏至
- 22日(日) 衆・参議院議員選挙、最高裁国民審査投票日
- 票日(7時〜18時)
- 23日(月) ふみの日
- オリンピックデー
- 25日(水) 救らいの日
- 27日(金) 心配ごと相談日(セシター)
- 28日(土) 貿易記念日
- 30日(月) 大はらい
- ▼人生意気に感ず 短気は損気▲

がけ崩れが発生すると大きな被害を招くことになりかねません。

なかでも、こう配が三十度以上で、高さが五メートル以上ある、がけ崩れ危険区域に、家が五戸以上あるところは、全国で約六万四千か所もあり、約百万戸が危険と同居しています。

がけ崩れは、一瞬にして家屋・人命が失われる恐ろしい災害です。昭和四十五年からは昨年までの十年間に発生したのがけ崩れは五千回以上、死者約七百七十人、負傷者約九百人、家屋の全壊・半壊合わせて一万戸以上という数字が、その痛ましさを物語っています。

六月一日から七日は「がけ崩れ防災週間」です。長雨や豪雨のときはもちろん、地震や地震の後の雨もがけ崩れの赤信号。

いざ、というときに備えて、災害防止のための工事をしたり、避難方法や避難場所などを家族で話し合い、防災体制づくりをしておくことが大切です。